

長野県革新懇ニュース

2022年10月号
発行日10月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971



発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人：山口光昭 編集長：高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 渡辺享則さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」桂木恵さん
- 3面 国葬反対でアピール、飯田平和祈念館展示拒否をめぐって読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「丸腰」という抑止力 窪島誠一郎さん
県内に多く残る奉安殿跡 北原高子さん
映画評論『教育と愛国』 内山到さん

長野県革新懇

検索



1949年長野市生まれ。信州大学工学部卒。指揮法を守屋博之、崎田俊治両氏に、ピアノ、音楽理論を倉沢康子氏に師事。「反核日本の音楽家たち」会員。2003年より合唱指揮者として長野県内各地合唱団・サークルの指導をする。2010年、2015年のNPTニューヨーク行動日本のうたごえ代表団の音楽監督を務める。日本のうたごえ祭典全国合同指揮、客演指揮、合唱講習会講師、合唱発表会審査員、等の要請も多い。

うたごえ運動は「歌う憲法請負」活動

わたなべ たかのり 渡辺 享則 さん

(日本のうたごえ全国協議会副会長、長野合唱団指揮者)

結成以来続く 一緒に歌う伝統

Q 長野合唱団は結成70周年を迎えたのですが、その歴史をお聞かせください。

今日の国際女性デーに当たる1952年3月8日に来・みそ・しょう油値上げ反対の集会が長野市でもたれ、そこで有志が合唱をしたようすが、そのことをきっかけにして長野合唱団が生まれたとのこと。当時のメンバーには桜井甘精堂創業者の桜井佐七さんや長野映研創業者の石井修吾さんがおられ、存命時には当時のお話をよく伺いました。

結成当時はアコーディオンを自転車の荷台にくくりつけて、松本や塩尻、その先まで出かけて行って、青年団の皆さんと一緒に歌う活動をした。

関鑑子が提唱した うたごえ運動

Q 長野合唱団はうたごえ運動の一翼を担っているわけですが、うたごえ運動の紹介をお願いします。

うたごえ運動は、敗戦後の国民運動の高まりの中で、当時日本で3本の指に入る音楽家だった関鑑子さんの指導のもとに1948年2月10日に

り、各地の労働争議を励ましたりしていたようです。また1960年頃から毎年、定期演奏会を開くようになり、2018年には54回を数えています。ただ、今は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、定期演奏会の開催も中断せざるを得ない状況なので、残念ながら結成70周年の演奏会は開けていません。

中央合唱団が創立されたことが始まりです。彼女はプロレタリア音楽同盟の委員長をやっていた、音楽を社会活動の中で生かしていく活動をしていました。しかし、自分一人の活動では間に合わないというところで、日本青年共産同盟の「中央コーラス隊」を母体として、中央合唱団を組織したわけです。当時は多くの文化人が戦争中の抑圧から解放されて、さまざまな文化活動が一気に花開いて、音楽活動も各地で活発化しました。

私が入った当時は川中島バスに争議にギターを持っていった支援したり、春闘の集会にメーデー歌集を持っていった歌ったり、またうたごえ喫茶で定例の歌うコーナーを持つたりしました。労働組合青年部の学習会にはよく呼ばれて一緒に歌うなど楽しい思い出もありました。

うたごえ運動が始まったわけですが、60年代に入ってから、民主的な運動が様々な攻撃を受けて分断されるわけですが、そうした中、連続と続く運動を進展させて「日本のうたごえ全国協議会」が結成された。うたごえ運動を改めて社会の闘争だけではなくて、生きる力ということに着眼点をおいて、70年代に流行っていくフォークソングとも一体になりながら、新しい運動に変わってききました。

合唱の魅力は 誰もが参加できること

Q 音楽活動とりわけ合唱の魅力をお聞かせください。

一般の人たちが何か表現しようとしたら、合唱は体さえ元気だったらできるんです。合唱の一つの魅力はそこにある。それから大勢で歌うということがすごく力になる。どんな状況でもいいわけです。障害者の方も参加できる。実は音楽が好きな人から入るのですが、健康者からみると目が見えないことはハンディキャップのように思えますが、彼らにしてみたらそれは自分の中にある一つの条件な

ので、それを前提にした音楽ができるわけです。できることをみんなで寄せ合ってやる。好きな人も嫌いな人も一緒にできる、目的のためには、みんなが結集しよう、まとまろうということを作り上げていく。だから合唱というのは、基本的な人間として大事な、あるいは社会活動として大事なことを体現しているのではないかと気がします。ちよつと大袈裟ですが、統一できる目標があれば、それと力を合わせることもできるといっても素敵で、それも合唱の魅力だと思っています。

うたごえ祭典で 大きな音楽的刺激

Q どのような経緯で合唱団に参加したのですか、また強く印象に残っていることはどのようなことでしょうか。

僕が歌う活動に参加したのは1969年、信州大学の工学部1年生のときでした。当時、大学は東大闘争など学生運動の荒波にもまれ、信州大学でも黒いヘルメットの人たちにロックアウトされたりしていました。そうした中で、音楽が好きだったので、友人に誘われてこの活動に参加するようにになりました。次第に社会の在り方を問う様々な活動にかかわり、「音楽の果たす役割」にのめり込んでいきました。当時、ベトナム戦争反対や沖縄返還闘争は大きな歌の運動をつくり、すっかりとりこになりました。そうした中で、東京で行わ

【2面に続く】